

演習

個人ワーク

1. 入所者殴り骨折 施設は虐待を事故として処理

- 県警は、身体障害者支援施設に入所中の男性（76）を殴り骨折させたとして、傷害の疑いで介護福祉士の **容疑者（29）** を逮捕した。
- 男性は骨折など複数のけがを繰り返しており、県警は **日常的に虐待があった可能性** もあるとみて慎重に調べている。
- 県警によると、約1カ月前に **関係者からの相談で発覚** 同施設を家宅搜索した。
- 同施設を運営する社会福祉法人は男性の骨折を把握していたが
- 虐待ではなく「**事故**」として**処理**していた。

2. 福祉施設で暴行死 施設長が上司に虚偽報告

- 知的障害のある児童らの福祉施設で、入所者の少年(19)が職員**の暴行を受けた後に死亡した**。また、施設長が2年前に起きた職員2人による暴行を把握したが、上司のセンター長に「**不適切な支援(対応)はなかった**」と**虚偽の報告**をしていたことが分かった。
- 県は、障害者総合支援法と児童福祉法に基づき、**施設長を施設運営に
関与させない体制整備の検討**などを求める改善勧告を出した。
- 県はこれまでに、同園の元職員5人が死亡した少年を含む**入所者10
人を日常的に暴行していた**ことを確認。別の職員も**入所者に暴行した
疑いも浮上**した。
- (最終的に、10年間で15人の職員が23人の入所者に虐待していたことが判明)

3. 障害者施設暴行職員補助と職員の2人を傷害で起訴

- A市の知的障害者支援施設で、入所者の男性(28)が腰の骨を折るなどの重傷を負った事件で、地検は2日、同施設の職員(25)と職員補助(22)を傷害罪で起訴した。
- 両被告は共謀し、施設内で男性入所者の腰付近を数回蹴ったり、左肩付近を殴ったりして腰の骨を折るなどのけがをさせたとしている。
- 両被告は容疑を認め、「言うことを聞かず腹が立った」などと供述している。事件以前から **日常的に暴力を振るっていたことも認めている** という。
- また、別の施設でも、入所者の50代女性が体についたあざについて「被告にやられた」などと話している。法人は「コメントは控える」とした。

4. 障害者暴行事件 幹部職員ら証拠隠滅容疑で逮捕(続報)

- ・ 入所者に暴行したとして元職員らが逮捕された事件で、施設を運営する社会福祉法人の幹部職員ら3人が、事件後に行われた内部調査の文書を廃棄したとして **証拠隠滅の疑いで警察に逮捕**された。
- ・ 文書には入所者の男性が暴行を受けた際の日撃証言が記載されていたと見られている。

ワーク2

- ・もし、あなたが、同僚職員が利用者に虐待したのではないかと疑いを感じたらどうしますか？

ワーク3

- ・ あなたは、原因の分析と再発防止のため、どのように対応しますか？
- ・ 虐待を行った職員に対しては・・・。
- ・ 複数の職員による虐待の場合には・・・。
- ・ 見て見ぬふりをしていた職員がいる場合には・・・。
- ・ 職員の知識や対応の技術が不十分な場合には・・・。
- ・ 管理者等や役職者が虐待を行っている場合には・・・。